

記録

フィルム

カラー／34分

- 企画・監修
日本芸術文化振興会
国立劇場
- 協力
東京演劇かつら株式
会社 東京鴨治床山
株式会社 有限会社
光峯床山
- 資料協力
東京国立博物館
早稲田大学演劇博物
館 向井信夫

スタッフ

- 製作
村山和雄
- 脚本・演出
大島善助
- 撮影
黒柳 満
村山和雄
山屋恵司
- 撮影助手
藤江 潔
今野聖輝
- 照明
水村富雄
- 編集
岸 真理
- ネガ編集
井上孝子
- 録音
堀内戦治
- 録音スタジオ
アオイスタジオ
- 現像
ソニーPCL
- 解説
山川建夫
- 出演
坂東八十助
中村橋之助
市川團十郎
市川右之助
中村福助
澤村宗十郎
他

文部省選定

歌舞伎の鬘(かつら)は、役ごとに様々な決まりがあり、髪型は、役の年齢や身分、職業、性格などを表す役割もある。演者の役や性格に合わせて鬘を作るかつら師と演者の髪を結い上げる床山(とこやま)が分業で仕事を行い、歌舞伎の舞台裏から舞台を支えている。

■ 演目

- 『鎌倉三代記 (かまくらさんだいぎ)』 坂東八十助・中村橋之助
- 『身替座禅 (みがわりざぜん)』 市川團十郎・市川右之助
- 『日本振袖始 (にほんふりそではじめ)』 中村福助・澤村宗十郎
- 『八重桐廓噺 (やえぎりくるわばなし)』
- 『碁太平記白石噺 (ごたいへいきしろしいしばなし)』



登場人物の役柄や性格をピタリと決める鬘は、衣裳や隈取などとともに、歌舞伎の様式美を構成する重要な役割を担っている。

実際の歌舞伎の舞台や江戸時代の錦絵をまじえて、その役割と歴史を見ていく。そして、舞台裏から現代の歌舞伎を支えるかつら師と床山の仕事を紹介し、その面白さを伝える。